

質問順位	5	質問者	安楽良幸議員		
件名	項目		要旨		メモ
1. 防災対策	1. 防災ハザードマップの更新・配布について		<p>1. 本年10月中旬に関東・東北地方を来襲した台風19号の豪雨により、71の河川が氾濫し、140か所の堤防が決壊して、多くの人命が失われた。被災地では、現在も大きな爪痕が残り復旧作業に追われている。</p> <p>近年は、気象変動により我々の想像をはるかに越えた豪雨被害がいつ発生してもおかしくない状況である。</p> <p>本市においても一級河川である石狩川、空知川が流れており、台風19号並みの豪雨があった場合、内水及び堤防の越水または決壊などにより、大きな被害が予想される。そのため、平成18年8月に市内全戸に防災ハザードマップが配布されているが、約13年が経過しており、平成27年から28年にかけて見直された国の防災ハザードマップとの整合性も取れていない。また、転居や防災意識の希薄などにより紛失している家庭も多いと聞いている。現在、本市では避難所の見直しを策定しており、それに併せて、防災ハザードマップを最新の状態に更新・配布して、災害時の危険性と避難所の位置を周知・徹底し、市民の安全確保に資するべきと思うが、市の考えを伺う。</p>		